

平成 26 年 度 事 業 計 画 書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人自然環境復元協会

1. 平成 26 年度事業計画案

事業名	事業計画
①環境教育及び環境人材の育成に係る活動	<p>【環境再生医資格認定講習】 平成 25 年度の実績を検証後、開催時期・会場を改善し、初級から上級までを開催する。</p> <p>【認定校】 環境再生医制度担当理事と制度の検証を行い、改善を図る。</p> <p>【環境再生活動事例発表会】 平成 25 年度の実績を環境再生医の会リーダー等と検証し、平成 26 年度の開催時期・会場を環境再生医の会リーダー等と相談し、開催の支援を行う。</p> <p>【環境再生医更新・再登録】 事務局担当を新たにし、更新・再登録の作業にあたる。更新率は 50% (80/163 人) を目指す。</p>
②身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動	<p>【レンジャーズ・プロジェクト】 事業の効率化を図るため、有給スタッフは資金を生み出す業務に関わるようにして、日常的な一般参加者との連絡業務などは、可能な限りルーティーン化するように業務をまとめ、インターで対応する体制とする。派遣回数は年間 50~60 本程度。</p> <p>【モバイル・コミュニケーション・ファンド】 レンジャーズ・プロジェクトのスマートフォン向けページ及び初心者向けページの強化と、参加レポート等によるコミュニケーションの充実化を行う。</p>
③農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動	<p>【農林水産省「都市農村共生・対流総合対策交付金】 平成 21 年度から継続してきた農林水産省都市農村交流課の補助事業へ申請を全国の環境再生医と共に、2 地区（気仙沼・郡山）にて活動を行う。さらに、認定校と農山漁村地域を結ぶ広域的な活動を行うことも目指す。</p> <p>【い・ろ・は・す “地元の水” 応援プロジェクト】 “ホタルが生育できる環境を整備すること”が活動の中心で、“地域主体”のプロジェクト。既にホタルの復活活動を行っているか、既に行おうと計画を立てている箇所から 19 箇所程選定した。“環境整備”を中心しながら地域の実情に応じて計画策定・有識者派遣・環境再生医派遣・工事設計・工事・維持管理計画作成を行う。</p> <p>【手のひらに太陽の家ハーブガーデン】 手のひらに太陽の家へハーブガーデンをつくる。新木場に平成 25 年度挿し木し育てたラベンダー 100 株を登米へ寄贈する。</p> <p>【モミガラ等を用いた放射性物質の除去・低減技術システムの普及活動】 浪江町・飯館村・葛尾村にて、モミガラ等を用いた放射性物質の除去・低減技術システムの普及活動を行う。</p>
④自然体験学習に係る活動	<p>【内なる自然勉強会】 「内なる自然」の解説やその実践のための研究活動発表会を行う。</p>
⑤テキスト等の出版に係る活動	<p>【テキスト・環境再生医の全面改訂】 環境再生医制度の改定に合わせ、テキスト「環境再生医」の全面改訂を計画する。</p> <p>【環境教育本の出版】</p>

	環境教育本を出版する。
⑥社会啓発や情報発信等に係る活動	<p>【ニュース・レター】 4月・7月・10月・1月の年4回発行を行い、会員・環境再生医・認定校・寄付者等へ配布する。環境再生医の紹介欄や認定校欄を充実化する。</p> <p>【ホームページ】 バナー変更等の充実化と更新を行う。特に環境再生医のページを充実化を目指す。</p> <p>【その他】 最新版 NAREC パンフレットの制作等、NAREC のプロモーションに資する物の制作を行う。</p>
⑦自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動	「④自然体験学習に係る活動」内の研究活動発表会に準じて活動を行う。